

令和3年度学校評価（教育活動診断アンケートより）

令和4年3月 中央小学校

12月に実施した「教育活動に関する調査（教育活動診断票）」へのご協力、ありがとうございました。保護者の皆様にご協力いただくとともに、学校でも子どもたちにアンケートを実施しました。先日、「学校関係者評価委員会」を開催し、5名の委員の方々と分析を行いました。以下、主な項目を中心に、調査結果から見た傾向や特徴を報告いたします。

※ これまでは、全校児童が回答していましたが、低学年の児童にとっては、理解が難しい設問もあり、本年度からは3年生から6年生までの児童が回答することにしました。

表中の数字については、教育活動診断アンケートの4段階評価のうち、A（あてはまる）とB（だいたいあてはまる）数値（%）を合計したものです。

○3つの宝

中央小の3つの宝、「あいさつ」「掃除」「ランニング」については、子どもたちはよく意識して行動しています。高学年の代表委員会を中心に、年間を通して様々な形であいさつキャンペーンを行ってきました。子どもたちらしいアイデアで全校に呼びかけ、働きかけしてきましたが、その成果が確実に表れてきています。今後も「先に、目を見て、明るく、誰にでも」あいさつができるように、子どもたちの頑張りを支えて行きたいと思えます。「掃除」については、例年同様高い数字を保っています。本年度は上学年が下学年に掃除の仕方を教える活動などもありました。こうした日常の一つ一つの活動によって、掃除の時間の一生懸命が当たり前という雰囲気が受け継がれているのだと感じます。そして本年度は学年ごとに曜日を決めて走るなど、コロナ禍の下でも朝のランニングを継続することができました。学年ごとに様々な工夫をして、走るのが苦手な子どもでも目標をもって取り組むことができていました。登校直後、朝のランニングが始まる前の時間や、業間などでも黙々とトラックを周回する子どもが多く見られ、目標がはっきりしたときの子どもたちの力強さを感じることができました。昨年度から運動不足傾向にあった子どもたちにとって体力作りのよい機会になっていることは間違いありません。

質問内容	A・B回答
【児童】友だちや先生に、笑顔であいさつができる。	84.0
【児童】家族や地域の人に笑顔であいさつができる。	83.8
【児童】掃除に真剣に取り組んでいる。	90.0
【児童】目標をもってランニングをがんばっている。	80.3



〈ぼくら、あいさつレンジャー〉

下でも朝のランニングを継続することができました。学年ごとに様々な工夫をして、走るのが苦手な子どもでも目標をもって取り組むことができていました。登校直後、朝のランニングが始まる前の時間や、業間などでも黙々とトラックを周回する子どもが多く見られ、目標がはっきりしたときの子どもたちの力強さを感じることができました。昨年度から運動不足傾向にあった子どもたちにとって体力作りのよい機会になっていることは間違いありません。

○授業について

昨年度より、学校では「いいとこさがし、いいとこみつけ」を合言葉に、子どもたちの良さを見つけ、認め、伸ばしていくことを意識して教育活動に取り組んできました。学級内でも子どもたち同士が良さを認め合えるように、各学級で工夫した取り組みを行ってきました。コロナ禍でいろいろな制限もありましたが、授業ではできるだけ体験的な学習を取り入れられるようにしたり、授業に関する教員の研修を行ったりして「楽しくわかりやすい授業」を目指してまいりました。この3つの質問の中では、「進んで意見を言うことができる」と回答した割合が低く、このことが本校の大きな課題であると考えています。子どもたちにとっても、授業は学校生活の中心です。まだまだ十分でないと受け止め、今後もさらなるレベルアップを目指していきたいと思えます。

質問内容	A・B 回答
【児童】授業はわかりやすくて楽しい。	81.8
【児童】授業では、友達の意見や感想をよく聞いている。	88.3
【児童】授業では、進んで自分の意見を言うことができる。	58.4



〈歌は歌えないけれど〉

○学校生活は楽しい？

授業以外の項目では、多くの児童がプラス回答をしています。運動会や学芸会などがこれまでのように行えなかったり、読み聞かせ活動が低学年のみで、しかも限られた期間でしかできなかったりしましたが、多くの子どもたちがそれぞれの活動を楽しんでいたようです。実際に様々な制約がある中でも、そこで力を出し切り、楽しむ姿を目の当たりにし、子どもたちの適応力を感じました。また、学級の問題を解決したり、友達に相談したりできているのは、子どもたちにとっては学校生活の重要なポイントで、そうした環境で過ごせることは、大変よいことです。ただ、「学校へ来るのが楽しい」「相談できる友だちがいる」などについて、否定的な回答の子が一定数いることは無視できません。すべての子どもたちにとって楽しく充実した学校生活となるように、子どもたちの成長を第一に考えた教育活動を展開し、多くの目で見守り、支えていかなければならないと考えています。

質問内容	A・B 回答
【児童】学校へ来るのが楽しい。	79.2
【児童】学校の行事（発表会など）は楽しく、積極的に参加している。	88.9
【児童】読書タイムなどの読書の時間が楽しい。	78.4
【児童】学級に問題があれば、みんなで協力して解決できる。	80.3
【児童】自分が困ったり悩んだりしたとき、相談できる友だちがいる。	86.0



〈中央小発表会 6年生劇〉